

# 事業再評価シート

事業名	地方創生道整備推進交付金事業		
箇所名	森林基幹道 西林・神陰線	市町村名	日向市

(上段は前回、下段は今回)

実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単			
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度	
	H17	R2	R6	
		R7	R11	
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率 (%)	
	2,844	2,014	事業費	用地
	2,844	2,364	71	—
再評価の概要	対象選定理由		事業効果 (B/C)	対応方針原案
	再々評価後5年経過		1.21	継続
	再々々評価後5年経過		1.18	継続

全体計画																				
<p>①全体計画延長：13,800m          起点：日向市東郷町下三ヶ字板山（坪谷地区）          終点：日向市東郷町山陰字庭田（寺迫地区）</p> <p>②利用区域内の森林の現況          利用区域面積：877ha          うち民有林面積：877ha          （うち人工林：378ha）</p> <p>&lt;参考&gt;森林整備状況（直近10ヶ年）</p> <p style="text-align: right;">単位：ha</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H27-R6</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績 (R6現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主伐</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">34</td> </tr> <tr> <td>間伐</td> <td style="text-align: center;">129</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>造林</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>保育</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">132</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">214</td> <td style="text-align: center;">196</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H27-R6		計画	実績 (R6現在)	主伐	31	34	間伐	129	2	造林	23	28	保育	31	132	計	214	196
区分		H27-R6																		
	計画	実績 (R6現在)																		
主伐	31	34																		
間伐	129	2																		
造林	23	28																		
保育	31	132																		
計	214	196																		

事業概要
<p>&lt;林道開設&gt;          全体延長 13,800m          総事業費 2,844百万円          事業期間 平成17年度～令和11年度（25力年）</p> <p>&lt;林道区分&gt;森林基幹道          自動車道区分 第2種2級          車道幅員 3.0m          全幅員 4.0m</p>



事業効果の分析			
○費用対効果 (B/C)			
総便益 (B)		総費用 (C)	
項目	金額 (千円)	項目	金額 (千円)
木材生産等便益	371,587	事業費	4,646,407
森林整備経費縮減等便益	5,092,396		
森林の総合利用便益	28,699	合計	4,646,407
		総便益 (B) / 総費用 (C)	
		<u>1.18</u>	
合計	5,492,682		
○事業を継続することの事業効果分析			
① 林業生産性向上による低コスト化			
② 九州自然歩道へのアクセス強化			
○開設効果指数			
生産指数	+	育林指数	= 5.45 ≥ 1.2
<p>・ 生産指数 = <math display="block">\frac{\text{蓄積計}}{\text{民有林針葉樹面積} \times 100 + \text{民有林広葉樹面積} \times 30}</math></p> <p>= <math display="block">\frac{280,579}{370 \times 100 + 497 \times 30} = 5.41</math></p> <p>・ 育林指数 = <math display="block">\frac{\text{利用区域内の3歳級以下の面積}}{\text{民有林針葉樹面積} + \text{民有林広葉樹面積}}</math></p> <p>= <math display="block">\frac{37.0}{370 + 497} = 0.04</math></p>			

コスト縮減
切土量を抑制するため、可能な限りL型擁壁工やかご枠擁壁工等を採用している。また、当林道外への残土運搬経費の縮減を図るため、現場内盛土施設の設置に努めている。

代替案の可能性
現行の計画線形は、山腹斜面、沢筋等の地形・地質・林況等を十分に検討し、切土と盛土のバランスをとり、切土量を極力少なくするように努め、経済的な線形となっている。 このため、代替案は示していない。

対応方針
事業継続が妥当であるとする。

